

地域で支え合う 子育て支援

問子育て支援課 ☎724・2138

子ども家庭 支援センターが 新設・移転

昨年、1年間で285件(2003年2月現在)もの相談が寄せられました。相談内容は、育児不安やお子さんの発達について、また、虐待の通報や相談(72件)もありました。事例として表面に現れにくく、心配している家庭も多いと思われ、同センターでは、子どもを取り巻くさまざまな問題に対処するため、専門機関とも連絡を取ります。まずは、子ども家庭支援センター(☎710・1525)に連絡して下さい。

市では、2003年3月に策定した「町田市子育て・子育て支援計画」に基づいて子育ての環境整備を進めています。この事業の一環として、昨年、子育て家庭のあらゆる相談に応じてサービスの調整・提供を行う「町田市子ども家庭支援センター」を市立町田保育園の3階に設置し、相談業務を実施してきましたが、4月から新施設に移転し、業務を開始します。所在地は、森野三丁目11番16号の市立森野三丁目保育園の2階です。

主な施設としては、相談室・図書コーナー・情報コーナー・プレイルームなどがあります。同センターでは0歳児から18歳までのお子さんとその家庭の相談

たくさんの方の相談が寄せられました

昨年、1年間で285件(2003年2月現在)もの相談が寄せられました。相談内容は、育児不安やお子さんの発達について、また、虐待の通報や相談(72件)もありました。事例として表面に現れにくく、心配している家庭も多いと思われ、同センターでは、子どもを取り巻くさまざまな問題に対処するため、専門機関とも連絡を取ります。まずは、子ども家庭支援センター(☎710・1525)に連絡して下さい。

待機児童解消のために

4月に保育園 2園が開園、 1園が定員増

市では待機児童解消のために、保育園の新設を中心に積極的に整備を進めていますが、4月には、新たに2園が開園、1園で定員の増が行われることになりました。



子どもの森保育園

子どもの森保育園(常盤町2970-1、社会福祉法人責静会設置・運営) 鉄筋コンクリート一部鉄骨造り2階建て、延べ床面積742.14㎡。定員71人。0歳児からの保育を実施、併せて一時保育、子育て支援事業も実施します。

森野三丁目保育園(森野3-11-16、町田市設置・NPO法人育児サポートあつぷの会運営) 鉄骨造り2階建ての1階の一部、延べ床面積218.29㎡。定員30人。0から2歳児までの保育を実施します。

玉川学園三丁目に子どもクラブと 集会施設の併設施設が開館

玉川学園三丁目都営住宅跡地に、子どもクラブと集会施設を併設した施設が開館します。これらの施設はかねてから玉川学園の地から建設の要望があったもので、跡地の一部1740.02㎡に鉄筋コンクリート平屋建て、延べ面積730㎡の施設を東京都が建設、市に無償貸与されたものです。開館は4月4日です。

また、跡地の残り3787.90㎡は子どもの健全育成と市民の交流の広場として今後、市が整備していくことになっています。

玉川学園子どもクラブ

この施設は市内で2番目の子どもクラブとなります。延べ面積は約440㎡、だれでも自由に遊べる多目的スペース、乳幼児と保護者のための乳幼児スペース、図書

玉川学園
さくらんぼ
ホール

この施設は市内で28番目の中規模会館で、地域の文化・市民活動及び福祉活動などの拠点となります。延べ面積



子どもクラブと集会施設の併設施設です

は約290㎡で、多目的ホール、和室、事務室などを備えています。中規模会館は、地域センターと町内会集会所との間に位置する集会施設で、運営管理は玉川学園の5町内会・自治会で組織する施設委員会により自主的に行われます。問市民活動振興課 ☎723・2892

完成、運行を開始しました

小田急線玉川学園前駅のエレベーター4基の整備が完成、3月21日に運行を開始しました。玉川学園前駅は、改札が2階にある橋上駅舎のため、早期のバリフリー化が求められていました。このため、南口・北口の自由通路部(小田急電鉄管理)と上り・下りへのホームに22人乗りエレベーターが設置されました。この整備により高齢者の進む玉川学園地区周辺の方々の駅利用環境の向上が図られるとともに、南北往來の活発化が期待されます。

また、上りホームのトイレはエレベーターの整備で支障となったため、新たに改札階に設置されました。このトイレは、温水設備のあるオストメイト対応(注1)の多目的トイレ(車いす対応型)で、男女別に設置するとともに、

現在工事中のJR相原駅が完成すると、市内全10駅でバリフリー化が図られることとなります。なお、市では、改札内への設置要望があるJR町田駅の既設エレベーター設備の早期改善に向けてJRと協議を進めるなど、今後も引き続きバリフリー化の課題に取り組みしていくことになっています。注1 病気等による人工肛門・人工膀胱保有者をオストメイトと呼びます。全国で20万人以上の方がいらっしやいます。

4月1日「子ども生活部」を新設

4月1日から各部署にまたがる子どもを対象とした事業や問題を調整し、総合的な事業展開を図ることを目的に、「子ども生活部」を設置します。

子どもに関する行政課題は教育委員会を始め、児童福祉、保健医療、青少年健全育成、環境整備等多岐にわたっています。これまでは、これら課題ごとの縦割りの組織であったために、内部の調整に時間がかかる、問題に対する所管部署が特定しにくく、迅速な対応ができないなどの問題が指摘されてきました。

市では子どもに関する行政課題を重要課題ととらえ、今後子ども生活部を中心に、よりよい市民サービスや、市民のニーズに対応した効率的・効果的な事業展開を図っていくことになっています。子ども生活部の組織は下表のようになります。子ども生活部子ども総務課 ☎724・2876

課及の機	出のびの	先称	主	な	業	務	電話番号	場	所
子ども総務課			企画総務係 子どもに関する総合計画の策定・調整、青少年問題協議会に関すること、私立幼稚園・専修学校・各種学校に関すること				724・2876	本庁舎	2階
			医療費手当係 乳幼児の医療費助成、ひとり親家庭等の医療費助成に関すること				724・2143	本庁舎	2階
			手当助成係 私立幼稚園等園児保護者補助金、幼稚園就園費補助金、私立小中学校等保護者補助金、幼児教育手当、各種福祉手当等に関すること				724・2139	本庁舎	2階
児童青少年課			学童保育クラブ、子どもセンター、青少年育成事業に関すること				724・2182	森野分庁舎	1階
子育て支援課			子育て支援相談、保育所・母子生活支援施設の入所相談、母子緊急一時保護、母子女性福祉資金貸付等に関すること				724・2137	本庁舎	2階
			保育施設の計画・整備・運営・管理等に関すること				724・2138	本庁舎	地下1階
子ども家庭支援センター			子どもと家庭に関する総合的な相談、子育て支援サービスの調整等に関すること				710・1525	森野三丁目	11番16号
市立保育園			保育の実施、保育に関する情報提供・相談						